



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 株式会社クロップス 上場取引所 東 名
 コード番号 9428 URL <https://www.crops.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役 社長執行役員 （氏名）前田 有幾
 問合せ先責任者 （役職名）取締役 企画本部本部長 （氏名）犬飼 智之 TEL 052-588-5640
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	17,905	13.9	1,012	21.5	1,087	30.1	526	75.7
2026年3月期第1四半期	15,717	12.2	832	208.5	836	125.2	299	—

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 544百万円（75.6％） 2026年3月期第1四半期 310百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	55.64	—
2026年3月期第1四半期	31.66	—

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	39,606	15,889	34.0
2026年3月期	40,747	15,877	32.7

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 13,464百万円 2026年3月期 13,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	32.00	32.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	37,357	19.6	1,639	15.5	1,653	13.2	694	—	73.43
通期	78,006	15.6	3,820	6.1	3,841	3.2	1,855	100.3	196.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	9,597,400株	2026年3月期	9,597,400株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	141,294株	2026年3月期	141,294株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	9,456,106株	2026年3月期1Q	9,456,106株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、移動体通信事業及び店舗転貸借事業の販売収入の増加により、売上高17,905百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益は1,012百万円（同21.5%増）、経常利益1,087百万円（同30.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、526百万円（同75.7%増）となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	15,717	17,905	13.9
営業利益	832	1,012	21.5
経常利益	836	1,087	30.1
親会社株主に帰属する四半期純利益	299	526	75.7

当企業集団におけるセグメント別の業績の概況は次の通りであります（各セグメントの売上は、外部顧客に対するものであります）。

① 移動体通信事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	6,616	7,962	20.3
セグメント利益	193	377	95.8

当第1四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益は、3月に事業を譲り受けた10店舗、および、法人事業が、収益拡大に貢献し、売上高7,962百万円（前年同期比20.3%増）、セグメント利益は377百万円（同95.8%増）となりました。

② 人材派遣事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	750	762	1.6
セグメント利益又は損失 (△)	△7	0	—

当第1四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益は、技術者派遣が好調により、売上高762百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は0百万円（前年同期はセグメント損失△7百万円）となりました。

③ ビルメンテナンス事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	1,512	1,814	20.0
セグメント利益	58	96	65.4

当第1四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益は、スポット売上の受注増加と物価上昇分の価格転嫁が進んだことなどにより、売上高1,814百万円（前年同期比20.0%増）、セグメント利益は96百万円（同65.4%増）となりました。

④ 店舗転貸借事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	4,229	4,885	15.5
セグメント利益	351	456	30.1

当第1四半期連結累計期間の新規契約件数及び後継付け件数（閉店した店舗に対し新規出店者と転貸借契約を締結したもの）の転貸借契約件数の合計は165件（前年同期比15.4%増）となりました。

また、転貸借物件数は、前連結会計年度末より106件純増し、合計3,127件となりました。

これらの結果、売上高4,885百万円（前年同期比15.5%増）、セグメント利益456百万円（同30.1%増）となりました。

なお、店舗家賃保証事業の収益は、店舗転貸借事業のセグメント収益に含んでおります。

⑤ 不動産売買事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	587	345	△41.1
セグメント利益又は損失 (△)	203	△34	—

当第1四半期連結累計期間においては、都心の事業用不動産においては値上がり傾向も見られるなかで1物件を売却しました。この結果、売上高345百万円（前年同期比41.1%減）、セグメント損失△34百万円（前年同期はセグメント利益203百万円）となりました。

⑥ 卸事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	1,874	1,977	5.5
セグメント利益	60	88	47.6

当第1四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益は、100円均一ショップ向け販売の好調により、売上高1,977百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益88百万円（同47.6%増）となりました。

⑦ 海外事業

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	147	157	6.9
セグメント利益又は損失 (△)	△25	26	—

当第1四半期連結累計期間の売上高及びセグメント利益は、雇用代行のコントラクター増加、および、前期にJOB LINKS CORPORATIONの株式に係るのれんについて、減損損失を計上したことにより、のれん償却費が減少したことなどから、売上高157百万円（前年同期比6.9%増）、セグメント利益26百万円（前年同期はセグメント損失△25百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.2%減少し、23,038百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金の減少（△1,651百万円）等があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.7%増加し、16,568百万円となりました。これは、主として差入保証金の増加（132百万円）等があったことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて2.8%減少し、39,606百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.4%減少し、11,776百万円となりました。これは、主として買掛金の減少（△954百万円）等があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10.7%増加し、11,940百万円となりました。これは、主として長期借入金の増加（823百万円）等があったことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて4.6%減少し、23,717百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、15,889百万円となりました。これは、主として利益剰余金の増加（251百万円）があったものの、非支配株主持分の減少（138百万円）等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想については、2026年5月13日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,639	10,572
受取手形及び売掛金	6,949	5,297
商品	3,560	3,329
販売用不動産	755	1,351
その他	2,385	2,488
流動資産合計	24,290	23,038
固定資産		
有形固定資産	3,939	3,940
無形固定資産		
のれん	721	435
その他	137	154
無形固定資産合計	859	590
投資その他の資産		
差入保証金	8,708	8,841
その他	2,948	3,201
貸倒引当金	—	△5
投資その他の資産合計	11,657	12,037
固定資産合計	16,456	16,568
資産合計	40,747	39,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,074	3,119
短期借入金	2,360	1,850
1年内返済予定の長期借入金	168	168
未払法人税等	1,183	454
賞与引当金	616	632
その他	5,682	5,550
流動負債合計	14,084	11,776
固定負債		
長期借入金	887	1,710
役員退職慰労引当金	5	5
退職給付に係る負債	300	312
資産除去債務	494	506
長期預り保証金	8,330	8,497
その他	767	908
固定負債合計	10,785	11,940
負債合計	24,870	23,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	255	255
資本剰余金	915	915
利益剰余金	11,395	11,647
自己株式	△104	△104
株主資本合計	12,461	12,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	743	727
為替換算調整勘定	108	23
その他の包括利益累計額合計	851	751
新株予約権	2	2
非支配株主持分	2,561	2,422
純資産合計	15,877	15,889
負債純資産合計	40,747	39,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	15,717	17,905
売上原価	11,517	12,904
売上総利益	4,200	5,001
販売費及び一般管理費	3,367	3,989
営業利益	832	1,012
営業外収益		
受取利息及び配当金	24	28
違約金収入	8	6
受取補償金	88	16
為替差益	—	29
その他	14	7
営業外収益合計	135	89
営業外費用		
支払利息	6	8
支払補償費	68	4
為替差損	52	—
その他	3	0
営業外費用合計	131	13
経常利益	836	1,087
特別利益		
固定資産売却益	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除売却損	3	0
減損損失	—	0
その他	—	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	834	1,087
法人税等	367	442
四半期純利益	467	645
非支配株主に帰属する四半期純利益	167	119
親会社株主に帰属する四半期純利益	299	526

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	467	645
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	△15
為替換算調整勘定	△92	△84
その他の包括利益合計	△156	△100
四半期包括利益	310	544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142	425
非支配株主に係る四半期包括利益	167	119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメンテ ナンス事業	店舗転貸借 事業	不動産 売買事業
売上高					
外部顧客への売上高	6,616	750	1,512	4,229	587
セグメント間の内部売上高又は 振替高	0	7	—	1	0
計	6,616	757	1,512	4,230	587
セグメント利益又は損失（△）	193	△7	58	351	203

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	卸事業	海外事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,874	147	15,717	—	15,717
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	9	△9	—
計	1,874	147	15,727	△9	15,717
セグメント利益又は損失（△）	60	△25	832	—	832

(注) セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する事項

(単位：百万円)

	報告セグメント				
	移動体 通信事業	人材派遣 事業	ビルメンテ ナンス事業	店舗転貸借 事業	不動産 売買事業
売上高					
外部顧客への売上高	7,962	762	1,814	4,885	345
セグメント間の内部売上高又は 振替高	0	5	—	—	2
計	7,962	767	1,814	4,885	348
セグメント利益又は損失（△）	377	0	96	456	△34

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	卸事業	海外事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,977	157	17,905	—	17,905
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	7	△7	—
計	1,977	157	17,913	△7	17,905
セグメント利益又は損失（△）	88	26	1,012	—	1,012

(注) セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当社連結子会社の株式会社イノベーションホールディングスは、当第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントの業績をより適切に反映させるため、全社費用の配分方法を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の測定方法により作成することが実務上困難であるため、変更前の測定方法に基づき作成したものを記載しております。当該変更に伴い、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間における「店舗転貸借事業」のセグメント利益が16百万円増加、「不動産売買事業」のセグメント利益が16百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	65百万円	63百万円
のれんの償却額	53	38